

編集後記

▼9月は台風の影響などで予定していた取材がなくなったり、日にちが変わったりと慌ただしい一月でした。私の予定していた取材の一つが中止になり、町民ソフトボール大会は雨が降っていましたが無事に開催！町民ソフトボール大会も中止になっていたら編集後記に何を書こうか悩むところでした。(杉澤)

▼酪農祭を取材。男の焼きそば、愛のおでん…目をひき、食べたくなりますね。少し変えるだけで、人をひきつけられるんだと改めて感じ、広報誌も工夫次第だなと考えさせられました。▼牛乳早飲みリレーに出たい！と思いながら、出場者の飲みっぷりを撮影。私の飲みっぷりも負けていないはず。来年、出場しようかな。(高江洲)

▼弾道ミサイル落下時の行動についての記事を掲載しました。防災無線から聞こえる「アラート」のあの音は心臓に悪いですね。広報誌に「ミサイル」という言葉が出てくる時代になるとは。▼クローズアップで取材した田中さんの自由研究にはただただビックリ！胃の内容物を調べるのは大人でもためらいますよね。とても緊張していましたが、最後にいい笑顔を見せてくれて、ホッとしました。(加賀)

ひとのうごき

●人口／ 9,699人 (－4)
男／ 4,601人 (－1)
女／ 5,098人 (－3)

●世帯／4,439世帯 (3)

●出生／ 3人 ●転入／27人

●死亡／11人 ●転出／23人

8月31日現在 ()内は前月比

■発行／厚岸町
■編集／総務課広報情報係

〒088-1192
北海道厚岸町真栄3丁目1番地
TEL 0153-52-3131
FAX 0153-52-3138

URL <https://www.akkeshi-town.jp>
E-mail soumu@akkeshi-town.jp
法人番号 5000020016624



海の作品展で最優秀賞受賞
田中 柚妃さん (10歳)

Close up － クローズアップ －

町内の児童が夏休みに作った作品を集め、海事記念館で展示する『海の作品展』で、119作品の中から最優秀賞を受賞したのは厚岸小学校5年の田中柚妃さん。

『海の生態調査』と題した自由研究では、自らが釣ったタラやカジカなど5種類の魚を自分でさばき、何を食べているかを調べた記録が細かく書かれています。

調べようと思ったきっかけは「母が魚をさばくところを見て、何を食べているのか気になりました」。魚の生息域や、食物連鎖についても本やインターネットで調べて書いてあり、読みごたえのある研究になっている。

海・川釣りが好きで、魚を食べるのも好きな田中さん。「魚のお腹を切つて、胃を見つめるのが難しかった」と話しながらも、苦労して作ったペー지를見せてカメラの前に立つと、達成感のある笑顔をを見せてくれた。

推し メシ

店主オススメの料理
それが「推しメシ」

工房るうぷ

営業時間／10時～16時
定休日／土・日曜日
真栄2丁目202番地 ☎52-5548



テリヤキベグル 190円(手前の皿のパン)

季節のパンもあわせると50種類ものパンを製造・販売している工房るうぷ。

おすすめは『テリヤキベグル』。ベグルは本来外側が堅いパンですが、厚岸の人の好みに合わせて柔らかめにしています。照り焼きのタレは甘辛くしています。玄米パンや惣菜系のパン、クッキーなども人気で、店舗で販売するほかに町内の事業所など約30カ所や、個人宅で訪問販売をしていて、手作りで安心安全なパンが愛されています。

工房るうぷは障がいのある人が働いています。初めは包丁を使えなかったけれど、今では野菜を切ったりできるようになった人もいて、「利用者が少しでも自立できるように頑張ってほしいんだよね」と代表の三浦さんは願っていました。